

## 地元魚介類料理を通じた社会福祉活動の実践

香良洲漁業協同組合女性部

中西 富士子

### 1. 地域の概要

香良洲町は、雲出川と雲出古川にはさまれた三角州にあり、面積は3.9平方キロメートル、人口は約5,300人のまちである(図1)。平成18年1月1日に市町村合併により津市の一部となった。

### 2. 漁業の概要

香良洲町の漁業者は香良洲漁協に所属しており、組合員は79名である。ばっち網、船びき網、底びき網、採貝が営まれ、イワシ、イカナゴ、エビ、カニ、アサリ、バカガイなどが漁獲される。平成17年の生産金額は2億3000万円である(図2)。

### 3. グループの組織と運営

香良洲漁協女性部は、部員25名、賛助部員22名の47名で構成されている。賛助部員とは元漁協組合員の配偶者で、総会参加や役員就任などに制限はあるが、そのほかは部員同様、女性部の様々な活動に参加できる。

女性部の指導体制は、町内9地区からそれぞれ1名ずつ役員を選出し、さらにその中から部長、副部長、会計各1名を選出している。役員改選は2年ごとに行っている。

### 4. 活動の動機

女性部では水産物消費拡大など、漁業の振興を目的とした活動を中心に行っている。最近、香良洲で水揚げされる魚介類を使った料理を各種イベントで提供してきた。

また、最近、漁業関係者以外の方々との交流と消費拡大活動を兼ねて、女性部で以前より取り組んでいる料理教室に農村女性を受け入れ、農村との交流の手段としても活用している。昨年11月にはJAいなべ女性部の30人に香良洲まで来ていただき、香良洲の魚介類で作った料理を食べていただきながら農村女性と漁村女性の意見交換を行った。

このほか、漁業に関することにとらわれず、私たちが暮らす地域にも貢献する必要があると考え、海浜清掃、防災活動、郷土料理や祭りといった漁村文化の保存・伝承にも取り組んできた。

このように、様々な活動に積極的に取り組んでいる。しかし、同じ活動を毎年繰り返すだけでは進歩がないので、マンネリ感をなくすとともに、これらの活動をさらに価値あるものに高めて行くにはどうするかと考えた。その答えの一つがチャリティやボランティアなど社会福祉活動への取り組みであった。

## 5. 活動の状況及び成果

女性部では以前より、香良洲で水揚げされた魚介類を使った料理をイベントなどで試食用に提供し、好評を得てきたが、この料理をチャリティに生かせないかという話が出てきた。そこで昨年6月、香良洲で水揚げされたアナゴを使ったちらし寿司を作る料理教室を開催した(図3)。各部員があらかじめ一般の人から注文を受けた300パックを料理教室で作製し、1パック300円で部員に配布した。そして集まったお金から食材費を除いた2万2000円を漁船海難遺児および津市社会福祉協議会へ寄付させていただいた。この料理教室には20人参加したので、1人あたり1,100円分のチャリティに貢献したことになる。

7月には津市にあるゴルフ場から三重県漁協女性部連合会あてに、「マリンカップ漁船海難遺児チャリティコンペ」に参加される一般の方の昼食として、地元の魚介類を使った料理を提供して欲しいという話があった。役員で協議した結果、趣旨に賛同したので、他の漁協女性部とともに香良洲漁協女性部も役員6名がボランティアとして参加した(図4)。香良洲で水揚げされた赤えびの唐揚げ、キスの天ぷら、ゆでたクルマエビ、イカナゴくぎ煮のおにぎり、ツメタガイの佃煮を現場で調理し、コンペに参加した皆さんに食べていただいた。とても暑い日で、熱射病になる人がいるような状況で揚げ物を作るのは大変であったが、「香良洲でこんなおいしい魚介類が水揚げされるのか」などと言っていただけであったことで報われた気がした。

チャリティコンペに出した料理が好評だったこともあり、同じゴルフ場で開催される厚生労働大臣杯全国身体障害者ゴルフ大会でも地元魚介類料理を提供して欲しいという話があり、快く引き受けることにした(図5)。大会の前夜祭に香良洲漁協女性部の役員6名が参加し、赤エビの唐揚げ、セイゴの天ぷら、漁師汁、タチウオご飯、サワラご飯を提供した。特に、タチウオやサワラのご飯は珍しいらしく、多くの方々に興味を持っていただいた。当日は雨まじりで寒かったこともあり、作りたての温かい料理は大人気で、とりわけ漁師汁の前には行列ができた。今回の料理も大変好評であった。

## 6. 波及効果

このように、社会福祉活動と地元魚介類料理をあわせた活動ができたのはこれまでになかったことで、この活動を通じて部員一人ひとりも社会福祉活動に対する関心を持ってくれたように思う。そして、このことが早速新たな取り組みにつながった。

心身障害者の方々が自立と生きがいを目指して働いておられる作業所が町内にある。「まつぼっくり」というこの作業所では、工場から下請けした軽作業のほか、小物類の製作販売をしている。そこで、どのようなものが作られているのかを知るために役員がまつぼっくり作業所を訪問した(図6)。そこには、障害を持つ方々が一生懸命作業をしておられる姿があった。そして、心を込めて作られた商品を見て、是非とも女性部で使わせていただきたいと思った。いろいろな商品を見せていただき、部員誰もが使える商品ということで、台所用水切りネットを購入することにした。昨年末の海浜清掃参加者に配ったところ、みんながその趣旨を理解してくれ、喜んで持ち帰ってくれた。

このように、これまで取り組んできた地元魚介類の消費拡大活動をはじめとする女性部活動にチャリティやボランティアという社会福祉の要素が加わったことで、あらたなやり

がいが生まれた。また、こうした活動を通じて役員を中心に部員にも楽しみながら活動するという雰囲気が出てきた。部活動を続けるためには、部員たちが楽しみながら活動できる環境を維持していくことが大切だと思う。そのためには活動をマンネリ化させることなく、常に新しい刺激を加えていくことが必要だ。今日発表させていただいたチャリティやボランティアなど、社会福祉への取り組みはその役割を果たせたのではないだろうか。

## 7. 今後の課題や計画

活動が盛んになるにつれて、役員を中心に疲労感が生まれつつある。行事当日だけでなく、水産物消費拡大活動の場合はその前日や前々日から食材の下準備をする必要があり、帰宅は午前様ということもあった。また、日曜日に活動することも多く、家族との団らんの時間が削られてしまうこともある(図7)。今後は効率的な活動をしていくことにより、役員が無理なく活動できるようにしたいと考えている。

今後の活動であるが、今日紹介させていただいたような社会福祉活動も引き続き行いたいと考えている。そのほか、女性部では、部員同士の親睦を深めるためのカラオケ教室を2年前に立ち上げたが、これを活用してチャリティカラオケ大会を開催することなども考えている。

また、社会福祉活動ばかりではなく、水産物の消費拡大・付加価値向上を図るため、地元水産物を利用した加工食品の販売事業も考えており、そのための準備にも取り組んでいる。

昨年7月に鈴鹿市で開催されたイベントで、女性部が調理したツメタガイ佃煮を試食していただき、74名の方にアンケートをお願いしたところ、試食いただいた全員からおいしいとの評価をいただき、手応えを感じている。

また、昨年9月に山口県下関市で開催された第1回全国漁村女性加工サミットにも参加し、イカナゴのくぎ煮を出品したところ、大変好評であった(図8)。専門家の方からは実際に商品として販売するときの注意点なども教えていただき、貴重な経験となった。

ツメタガイは、食材としてはあまり積極的に利用されていない貝であり、アサリなどの貝を食べる害敵生物でもある。また、イカナゴは新仔は食用として、成長したものは魚類養殖用のえさとしてそれぞれ需要があるが、その中間のサイズのイカナゴは需要が少なく、安値で取引されることが多くなっている。このように、価値の低い水産物を女性部が商品化することで付加価値を高め、ツメタガイやイカナゴの価値向上に少しでも貢献できないかと考えている。そして将来は、女性部活動で付加価値を高めたこのような地元水産物を通じて、社会福祉活動にも貢献できればと考えている。

どうして女性部で社会福祉活動を行うのか、と思う人もいるかもしれないが、これまで女性部では海岸清掃や防災訓練など、漁業に直接関係しないことにも取り組んできたこともあり、部員も理解を示してくれたものだと思う。従って、地元水産物の料理を通じた社会福祉活動を実践できたのは、これまでの活動の成果が下地となったものと考えている。また、漁協女性部としてこのような活動に取り組めたのは漁業組合や部員の家族の理解があっただけでできたことである。

これからも、女性部活動は周りの人々に支えられながら活動ができるのだということを忘れずにがんばっていききたい。

# 津市香良洲町



図1 三重県津市香良洲町

# 香良洲の漁業



図2 香良洲の漁業

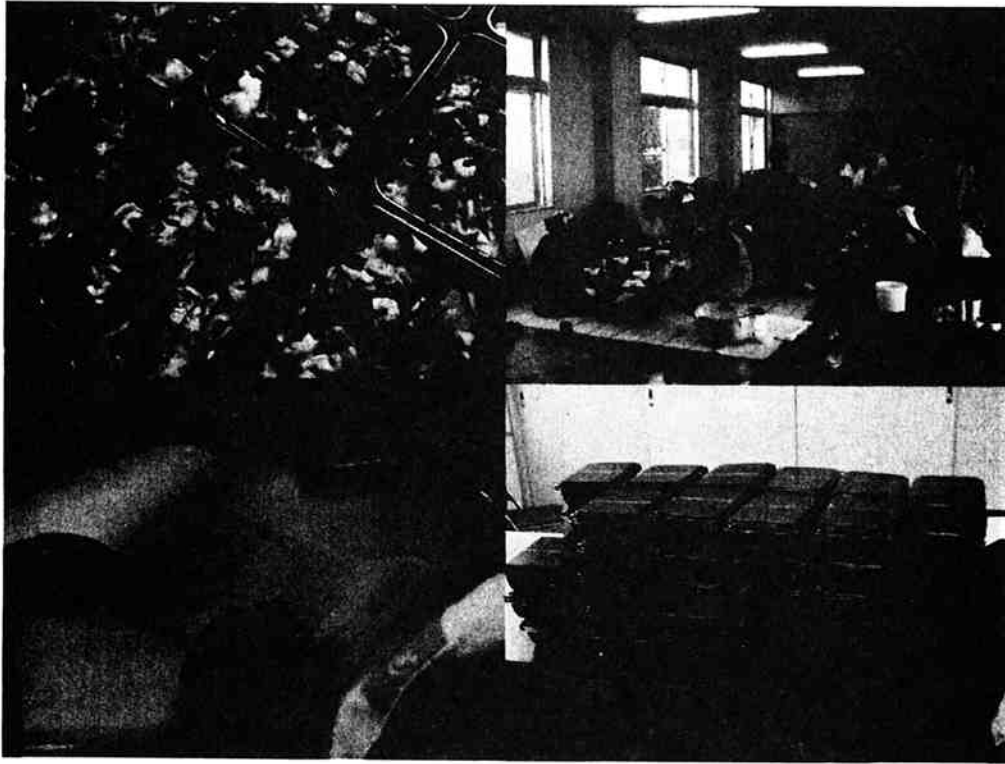


図3 料理教室（あなご寿司）

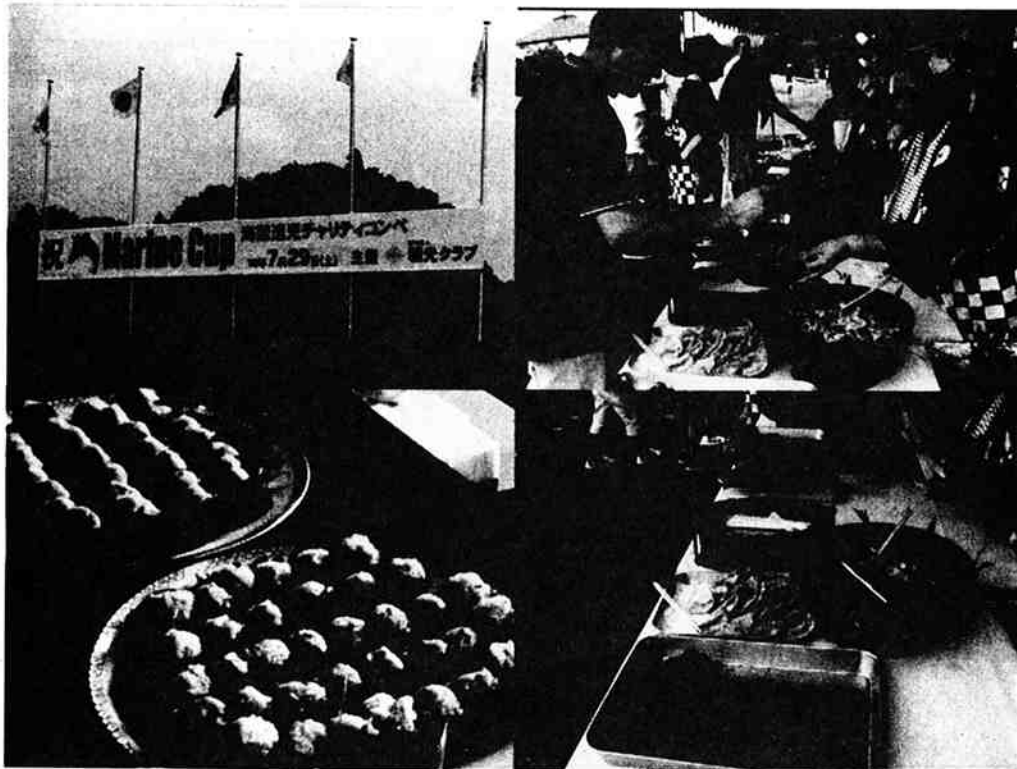


図4 海難遺児チャリティコンペでの地元魚介類調理ボランティア



図5 厚生労働大臣杯全国身体障害者ゴルフ大会での地元魚介類調理ボランティア



図6 「まつぼっくり作業所」 および同作業所製作の水切りネット

## 今年度の主な活動実績

- 4月 9日(日) JA一志東部女性部との料理教室
- 4月16日(日) 君ヶ野ダムイベント(料理販売)
- 5月28日(日) 渚のフェスティバル(料理販売)
- 6月25日(日) 海難遺児チャリティ料理(あなご寿司)
- 6月27日(火) 小学校漁業体験支援(アサリみそ汁)
- 7月22日(日) 海からのメッセージ(ツメタガイ試食)
- 7月29日(日) 海難遺児チャリティゴルフ(料理提供)
- 9月 5日(火) 伊勢湾北部女性連料理教室
- 9月23・24日(土・日) 全国漁村女性加工サミット
- 10月 7日(土) 2006みえ豊かな海づくり(試食提供)
- 11月 2日(木) 身体障害者ゴルフ(料理提供)
- 11月 5日(日) JAいなべ女性部との交流(料理提供)

平日に仕事を休んだり、休日をつぶして活動に充てている

図7 今年度の主要な活動の実績

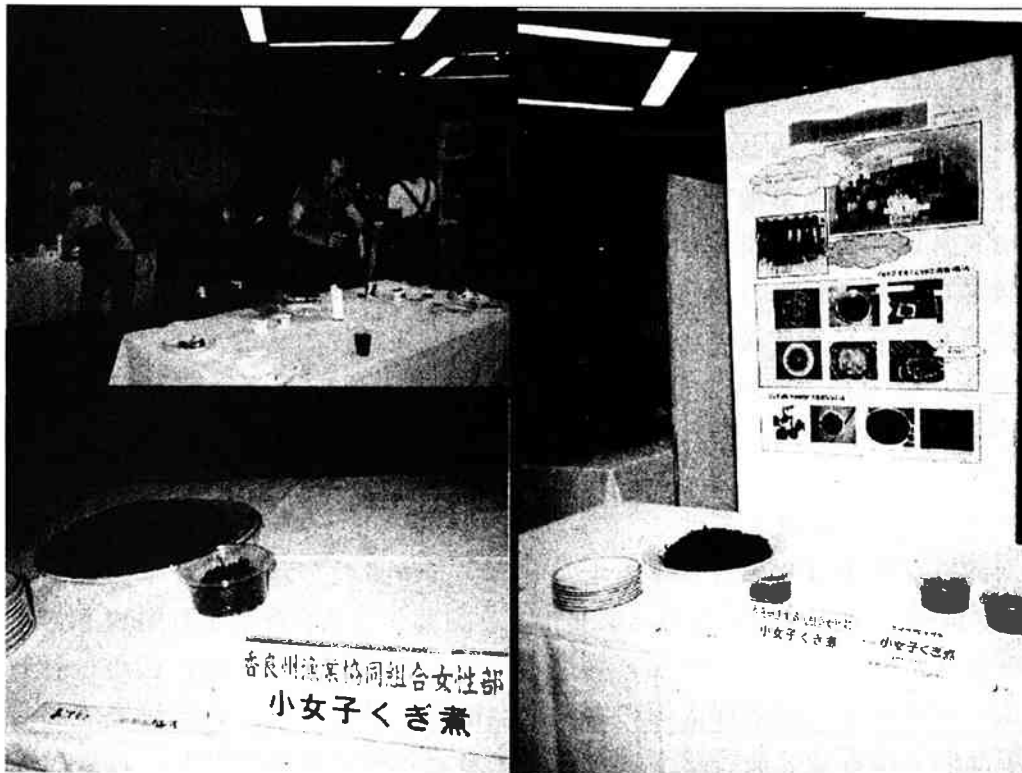


図8 全国漁村女性加工サミットへの参加状況